

八ヶ岳に移り住む人々の ゆるやかなネットワーク

- ① 地域の自然と文化を学び合う
- ② 農と手づくりに親しむ暮らしづくり
- ③ 知縁を生かした仲間づくり

八ヶ岳

Since2000 No.127

2022年3月1日発行

八ヶ岳ふるさと倶楽部会報

発行 八ヶ岳ふるさと倶楽部

メール:member@8furusato.hiho.jp

ファックス:050-3737-1293



我が家のスモモ 本橋博

運営委員を引き受けて2年が過ぎました。いよいよ今年で任期満了です。私達なりに、ああもしよう、こうもしようとして皆使命に燃えておりました。ところが、コロナ、コロナです。総会もふるさと祭りも計画を立てたあらゆる行事が中止となりました。室外で出来る行事なら出来るのではないかと柿の収穫、ユズの収穫、梅の剪定など人数を制限させていただいて何とか行うことができました。皆さん家にこもって人との交流ができていないのではないかと。歌なんか唄ってストレスを発散させたいのではないかと。どうにか実現できないものかと委員同志ケンケンガクガクと意見が飛びかいました。委員会自体も2週間ルールに基づいて

「他県に出たり入ったり又そういう方と接触した委員の会合出席はダメです」というほどにコロナ感染に気を遣いながらも、会員の皆さんに楽しんでいただく方法はないものかと、委員の皆さんの真摯な思いに私は感動すら覚えました。すごい人達です。この人達と一緒に活動できる事が嬉しかったです。今まで20年近くこうやって会員の皆さんの事を思い企画運営をなさってくださっていたのだと自分が委員になって初めて知りました。コロナもいつか収まる事でしょう。皆さんの笑顔にお会いできる日を楽しみに致しております。ありがとうございました。

共同代表

特集 最期までこの地で暮らす～元気に生きる

今年度最後の特集を何にしようか考えた時、「最期までこの地で暮らす」ということが、私を含め移住者の思いではないかと、このテーマを選びました。この地ではなくても「最期まで元気に生きられたらいいな」と、誰もが望んでいる事でしょう。我がふるさと倶楽部の多くの先輩方から生活を楽しむ、元気に生きていく為のあり方を学べたらと思います。しかし、誰もがいつまでも元気でいられるとは限らない事も現実です。そんな「これから」の事も含め考えていけたらと思います。